

自然史博物館の収蔵庫と標本の利用4 ードイツ：国立シュトゥットガルト自然史博物館ー

国立シュトゥットガルト自然史博物館はバーデンブルグ州の州都シュトゥットガルトにある、南ドイツを代表する自然史博物館です。南ドイツで産出する全ての化石・鉱物・岩石を所蔵・展示しています。特に、すぐ近くのホルツマーデン（東方55Km）産のジュラ紀前期の海棲ハチュウ類のコレクションは世界的に有名です。地下の収蔵庫は保存状態が完全な魚竜・首長竜・ワニの化石であふれています。ホルツマーデン産の化石はこの博物館の研究者の審査を受けて、許可がなければ輸出できない事になっています。図書室所蔵の文献量もヨーロッパ随一を誇っています。この博物館はヨーロッパの玄関口の一つであるフランクフルトにも近く、私がいつも研究・文献収集のためにヨーロッパで最初に訪問する自然史博物館です。化石削出作業・レプリカ標本作製のためのスタッフ(5名)も充実しています。世界各地からやって来る研究者のための安価な宿泊施設もあり、全ての点で理想的な自然史博物館です。

<地質調査所 地質標本館 佐藤喜男>



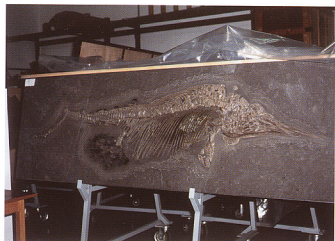
1. 博物館入口(シュトゥットガルト自然史博物館).



2. 展示室(ケナガマンモス: *Mammuthus primigenius* Blumenbach).



3. 収蔵庫(地下一階)



4. 収蔵庫(ジュラ紀前期魚竜化石: *Stenopterygius quadriscissus* (Qu. EM. E. Fr)).



5. 化石クリーニング室.



6. 特別展示(川の石たち: Steine in Fluss).



7. 図書室(文献別刷りトレイ).